

## 第 29 回中国に親しむ会開催報告

### 『中国茶の魅力』

開催日時：11月29日（月）16：00～17：30

会 場：遊茶 5階（表参道）

講 師：藤井真紀子（株遊茶代表）

参加者：16名



講師：藤井真紀子先生

#### 講師プロフィール

- ・株式会社遊茶 代表
- ・NPO CHINA 日本中国茶協会常任理事
- ・安徽農業大学茶与食品科学技学部講師
- ・湖南農業大学園芸園林学部茶学科客員講師
- ・中国国際茶文化研究会荣誉理事
- ・中国茶葉流通協会顧問
- ・中国政府公認評茶員・茶藝師

北京・香港における合計十年余にわたる滞在中、香港大学、香港ヒルトンホテル、北京外国企業服務公司などで日本語講師を務める傍ら、中国茶の魅力にとり憑かれていく。帰国後、当時、日本における中国茶に対する誤った認識の多い現状に、忸怩たるものを感じていたところ、志を同じくする中国茶愛好家達と出会い、「遊茶」を開業するに至る。

中国の文化に触れるイベントとして、「第 29 回中国に親しむ会」が開催されました。今年は「中国茶の魅力」について、表参道駅の近くにありますが中国茶専門店「遊茶」の教室をお借りして、代表の藤井真紀子先生に講義をいただきました。



お店の正面入口

賑やかな表参道ヒルズの向い側の通り沿いにお店と教室があります。お店の入口には珍しい丸い窓があり、お茶や扇子などがディスプレイされていて、表参道の街並みの中で中国らしい雰囲気の空間がひととき目を引きまします。ここではお茶の資格取得を目指す生徒さんから、趣味でお茶を学ぶ方々などが多く足を運ばれるそうです。

講習会では、まず始めに茶樹や生産される地域などの「中国茶」の基本的なお話を聞き、それから実際に各テーブルに用意された茶器を使用して、茶器の用途に沿ったお茶の淹れ方を教えていただきました。試飲したお茶は「祥華鉄観音」（福建省安溪県）と「嶺頭单蟻」（広東省潮州市）の2種類でした。茶器にはいくつかのタイプがあり、今回使用したのは「蓋碗

(「 gaiwan 」) という蓋付きの茶碗と、「 聞香杯 (もんこうはい) 」と「 品茗杯 (ひんめいはい) 」という二つの小さな杯のセットでいただきましたが、いずれもそれぞれがお茶の飲み方の用途に適した形になっています。



蓋碗 ( gaiwan )



蓋碗でお茶を飲む

他にも中国茶の種類や製造方法の違い、お茶の効能などについてもお話をいただきました。普段の生活の中でお茶をいただく機会が多いのですが、お茶の色や風味の違いの主な原因は製造方法の違いにあるということが分かり、また脂肪やコレステロールの吸収率を落とすという働きがあることも知り、これから今まで以上に味わい深く飲むことができそうです。

今年度の「中国に親しむ会」は、教室に入れる人数に限りがあったため、少人数での催しとなりましたが、参加いただいた会員の皆様には今までとは違う形で中国の文化に触れることが出来、お茶という癒しの時間の中で更にそれぞれの中国への思いを感じとっていただけたことと思います。

藤井先生をはじめとする株式会社遊茶の皆様には大変お世話になりました。  
ありがとうございました。



講習会の様子

中国に親しむ会の様子は、会報誌 12・1月号にも掲載しておりますをご覧ください。